

那須塩原市地域防災計画（案）に対する  
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和元年 12 月 23 日（月）から令和 2 年 1 月 23 日（木）まで
- (2) 意見提出者数 1 人
- (3) 意見件数 5 件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人

2 提出された意見要旨とそれに対する市の考え方

番号	意見要旨	市の考え方
1	<p>風水害等対策編（P2）</p> <p>第 1 市民に対する防災意識の高揚</p> <p>2 防災知識の普及啓発推進</p> <p>(1) 普及啓発活動</p> <p>ア 主な普及啓発活動</p> <p>④ ホームページや電子メールなどによる 防災情報の提供</p> <p>の次に以下の記載を追加してはどうか。</p> <p>「なお、みるメール（現状 15,000 人程度加入）の加入者増加を働きかけ、PC・スマホ所持者全員の加入が望ましいが、最低 1 加入者／1 世帯 = 43,000 人を目指し、市からの防災情報提供が可能とする。」</p>	<p>御意見をいただきました「ア 主な普及啓発活動」では、普及啓発の方法を例示しており、その具体的方法に対する数値目標を記載する予定はございません。</p> <p>また、本計画では、災害に係る予防、応急及び復旧・復興対策に関し、市、防災関係機関等が処理すべき事務又は業務の大綱を定めているため、統計的な数値や理念的な数値以外に施策ごとの具体的な数値目標については記載しておりません。</p>
2	<p>風水害等対策編（P5）</p> <p>第 1 個人・企業等における対策</p> <p>1 市民個人の対策</p> <p>市民は、一人ひとりが「自らの身の安全は自ら守る」という「自助」の精神に基づき、自ら次に掲げるような各種手段を講じるとともに、自主防災組織の活動に積極的に参加するなど、平常時から災害に対する備えに心がける。</p> <p>の次に以下の記載を追加してはどうか。</p> <p>「また、自治会加入率（現状 6 割程度）が年々下がっており、防災対応、被災時の対応を考えても隣近所とのヒトとヒトの連携強化を図るため、自治会加入率の向上対策について市を挙げて検討する。」</p>	<p>御意見をいただきました「1 市民個人の対策」では、市民一人ひとりが平常時から取り組むことができる対策について記載しており、次の 6 ページ中では、地域における住民相互の助け合い組織として「自主防災組織」の結成を促進していくこととしております。</p> <p>また、本計画では、災害に係る予防、応急及び復旧・復興対策に関し、市、防災関係機関等が処理すべき事務又は業務の大綱を定めているため、統計的な数値や理念的な数値以外に施策ごとの具体的な数値目標については記載しておりません。</p>
3	<p>風水害等対策編（P10）</p> <p>第 9 避難行動要支援者への配慮</p>	<p>本計画は年度毎の計画ではないため、年間計画的な記載は考えておりません。</p>

	<p>市（総務部・各支所）、消防本部等及び自主防災組織は、防災訓練を実施する際には、高齢者、障害者、要介護者、乳幼児、外国人等の避難行動要支援者に配慮したメニューの設定に心がけ、地域において避難行動要支援者を支援する体制の整備に努める。</p> <p>の次に以下の記載を追加してはどうか。</p> <p>「なお、2020年度内に1日、市から避難行動要支援者全員及び支援者への情報発信、返信（受信確認）の確認訓練を実施する。なお、早朝、昼間、夜間の3回実施し、勤務者、通学者、自宅不在者への伝達が可能か検討する。」</p>	<p>具体的な訓練内容は、毎年実施する防災訓練の中で検討することとしております。</p>
4	<p>風水害等対策編（P11）</p> <p>第1 避難行動要支援者の現状</p> <p>災害が発生した場合において、人的な被害を最小限にとどめるためには、住民一人ひとりが必要な情報を迅速、的確に把握し、災害から自ら身を守るために安全な場所に避難するなどの行動をとる必要がある。</p> <p>しかしながら、高齢者、要介護者、障害者、難病患者、妊産婦、乳幼児、外国人などの要配慮者のうち、情報収集や避難など災害時の一連の行動において支援を必要とする避難行動要支援者は、高齢化の進行等により増加傾向が続いている。また、各地の災害においても死傷者に占める高齢者等の割合が高い状況になっている。</p> <p>の次に以下の記載を追加してはどうか。</p> <p>「更に、自治会退会及び当初から自治会に加入していない避難行動要支援者が多く、地域とのヒトとヒトのつながりが希薄となってきている。」</p>	<p>自治会加入者の減少は、全体的な傾向ととらえております。また、避難行動要支援者の自治会加入状況に関しては統計がないため、避難行動要支援者の現状は、現段階では記載しない考えです。</p>
5	<p>風水害等対策編（P18）</p> <p>第1 災害に強いまちづくり</p> <p>3 災害時の緊急活動を支える公共施設等の整備</p> <p>の(1)を(2)とし、(2)を(3)として、(1)として以下の項目を追加してはどうか。</p> <p>(1) 旧埼玉清掃センターの広域防災拠点としての整備</p> <p>旧埼玉清掃センターは迷惑施設として、保守費が掛かっているが、市の中心部にあり、交通の便も悪くないので、建屋、駐車</p>	<p>旧黒磯清掃センターは既に他用途で使用していることもあり、広域防災拠点として使用する予定はございません。</p>

	場、煙突等を改修し、広域防災拠点・市民活動拠点に変貌させる。	
--	--------------------------------	--